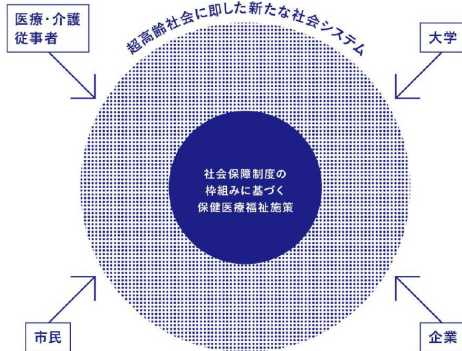


人生 100 年時代の持続可能な社会づくりを目指します

産学官民“オール福岡”で推進します

福岡100

人生100年時代の
健寿社会モデルをつくる
100のアクション



福岡市では、「人生 100 年時代」といわれる長寿社会を迎えようとする中、新たな社会システムづくりのために「福岡市健康先進都市戦略」を策定しました。全国に駆けて一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける持続可能な社会システム、「個人」と「社会」双方が幸せになれる「健寿社会」の構築を目指す都市戦略目標です。その内容は、以下の**7つの柱**を掲げ、2025年までに100のアクションプランを実現していくプロジェクト「**福岡100**」が開始しました。例えば、産学官民の共働・共創の場「福岡ヘルスラボ」の推進や、健康・医療・介護などをケアする分野でチャレンジするスタートアップ企業を応援する「ケア・テック・ベンチャー支援」など、行政だけではなく、市民や企業、大学など「オール福岡」で推進を図ってまいります。

すべての市民がケアに参加するまち



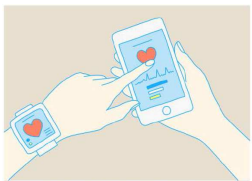
155万人がケアに参加、
家族介護と仕事の両立
支援へ

多世代がつながり合い活躍するまち



子育てを終えた人やシニア
のライフスタイル実現を支
援(アクティブシニアによる
創業・就業)

制度やサービスの垣根を超えるまち



健康・医療・介護の情報通
信基盤整備や公的保険外
の生活支援サービスの
提供、終活支援等

ケアテックベンチャーの拠点となるまち



IoT や AI を活用した健康づ
くり・見守りの仕組みづくり
等新しいサービスモデル
を創出

デジタル時代の医療サービスを実現されるまち



ICT を活用した遠隔診療や
オンライン問診の検討

誰もが楽しみながら健康になれるまち



福岡ヘルスラボによるオー
プンイノベーション(共働の
仕組みづくり)と健康リスク
の見える化

ケアの国際化を進めるまち

外国人ケア人材養成と交流をサポートし帰国後も学べる環境をネットワークへ

「福岡100」7つの柱

2018年秋、福岡市総合体育館が完成します！



2018年秋に、アイランドシティーに開館します。地上4階建て敷地面積は、約4万㎡、延べ建築面積は約2.5㎡です。駐車台数は約500台を準備しており、メインアリーナ約3700㎡、観客席約5000席、サブアリーナ約1800㎡、観客席約700席（九電記念体育館と同じ広さ）あります。武道場・弓道場・トレーニング室なども整備します。

市民会館の建替（拠点文化施設）事業がスタートします！

福岡市民会館は、昭和38年に開館し、築後50年が経過。劣化、陳腐化が著しくバリアフリーになっていませんでした。

そこで今回、市民会館を継承する拠点文化施設の整備事業が発表されました。併せて須崎公園の再整備も行います。

完成は、5年後の平成35年度の予定です。

【施設概要】

大ホール 約2000席
中ホール 約800席
平土間ホール 約150椅子席
練習室も整備



【今後のスケジュール】

平成30～31年度	実施方針公表・入札
平成31～32年度	落札者決定
平成35年度	市民会館 開館
平成37年度	須崎公園全面開園

ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口つよし

《担当役職》

議会運営委員会理事

第2常任委員会委員

九大移転跡地対策協議会会長

